

令和元年 第10回 伊丹市教育委員会 定例会 会議録

1. 日 時 令和元年（2019年）10月31日（木）午後2時00分～午後3時00分

2. 場 所 総合教育センター 2階 講座室

3. 出席者 <教育委員会>

教育長	木下 誠	教育委員	秋田 久子
教育委員	江原 礼子	教育委員	川崎かおり
教育委員	川畑 徹朗		

<事務局>

教育次長	二宮 叔枝	総合教育センター主幹	永嶺 香織
教育総務部長	山中 茂	保健体育課長	中江 洋忠
学校教育部長	佐藤 幸宏	こども若者企画課長	藤澤 早苗
こども未来部長	大野 浩史	スポーツ振興課長	古結 孝広
生涯学習部長	村田 正則	公民館長	池田 真美
教育長付参事	多田 勝志	博物館長	中畔明日香
こども未来部参事	馬場 一憲	人権教育室主幹	森口 真一
人権教育室長	浜田 律子	教育政策課長	木村 克治
職員課長	植松 俊二	教育政策課副主幹	石田 亮一
学事課長	蓼原 恵	教育政策課	寺内 みこ

4. 欠席者 なし

5. 傍聴人 1人

6. 議 事

(1) 開会宣言 木下教育長（午後2時00分）

(2) 日程報告 木下教育長より次のとおり会議を進める旨の発議があり、全委員はこれを了承。

日程第 1 令和元年度第9回定例会会議録の承認

日程第 2 教育長報告

日程第 3 報告第 9号の承認

日程第 4 議案第57号の審議

日程第 5 議案第58号の審議

木下教育長より「日程第3及び日程第4、日程第5については、個人情報を含むため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき非公開にしたいと思いますが、よろしいでしょうか」との発議があり、全委員はこれを了承。

日程第3及び日程第4、日程第5は非公開の秘密会となる。

(3) 令和元年第9回定例会会議録の承認（日程第1）

令和元年第9回伊丹市教育委員会定例会（令和元年（2019年）9月12日（木）開催）
会議録については、全委員一致でこれを了承。

(4) 教育長報告（日程第2）

教育総務部長より「10月分人事報告」・「9月分教育施設関係工事の着工・竣工報告」・「9月分の寄附採納報告」・「9月分行事実施報告」について、学校教育部長より学校教育部及び市立伊丹高等学校の、こども未来部長よりこども未来部の、生涯学習部長より生涯学習部の、教育長付参事より人権教育室の「9月分行事実施報告」・「11月分行事実施予定」について、それぞれ説明があり、質疑応答の後、全委員一致で「教育長報告」を承認。

質疑応答

江原委員 4ページの学校指導課の9月行事実施報告について。6日（金）のCSディレクター研修会の内容を教えてください。

佐藤部長 この度、全小・中・特別支援学校に学校運営協議会がそろったこともあり、初めて実施した。CSディレクターを配置している学校運営協議会は23カ所ある。23人のCSディレクターにお集まりいただき、CSディレクターの役割や今後のスケジュールについて、事務の手引きを用いて説明させていただき、情報交換を行った。学校運営協議会は平成27年度から順次設置を進めてきたが、今年の3月に全小・中・特別支援学校への設置が完了した。今後は、協議会同士の横のつながりを深めながら取組を進めていきたい。

江原委員 北中学校で行われた、北中学校ブロックの合同協議会で、CSディレクターの方が、この研修会をととても楽しみにされていた。各協議会において、取組の内容や進め方について、色々と思案されているとお聞きしている。今回、各協議会で活躍されている方々が交流する機会となったことをうれしく思う。CSディレクターは、協議会の取組を広げ、深めていくための重要な役割を担っていると思う。まだCSディレクターを配置していない協議会は、今後、配置に向けて検討が進むよう支援をお願いしたい。

17ページのこども未来部の11月行事実施予定について。7日（木）にありおか幼稚園、18日（月）にひかり保育園など、就学前施設において、研究発表会や公開保育研究会が予定されており、幼児教育・保育の質

の向上に日々ご尽力いただいていることを感謝する。質問させていただきたいのは、対象者についてである。幼稚園の研究発表会は、対象が市内幼稚園・保育所・こども園職員となっているが、保育所（園）の公開保育研究会は、対象が公私立保育所（園）・認定こども園職員となっており、幼稚園が入っていない。現場の先生方が研究会に参加する時間を作るのは非常に難しいことだと思うが、こども園・幼稚園・保育所（園）の横の接続を強める機会であると捉えて、周知を図っていただきたい。また就学前施設と小学校の縦の接続を考えて、近隣の小学校にも案内されることをお願いしたい。様々な角度から子どもたちの様子を把握できるのが望ましいので、検討いただけると嬉しい。

木下教育長 平成29年度に国の幼稚園教育要領と保育所保育指針が改訂され、育成すべき資質・能力が同じものに統一化された。すべての子どもたちに質の高い幼児教育・保育を提供するために、こども園・幼稚園・保育所（園）が連携して取組を進めなくてはならない。江原委員のご指摘はもっともで、その方向で検討していきたい。

川畑委員 運動会が終わったので、組体操に関わる事故の実態を教えてください。

保健体育課長 重大事故は、小学校で2件、中学校で0件であった。1件は練習中、1件は連合体育大会中の事故である。

川畑委員 昨年と比較して減っているように感じるが、どうか。

保健体育課長 件数としては少ない。骨折以外の捻挫やつき指等については、現在集約しているところであるが、例年と比べて大きく減少している。学校からは、段数制限により危険度が下がったことで安全に実施することができたという声が聞かれている。

川畑委員 神戸市で重大事故が多かったという報道がなされており、本市の実態を確認させていただいた。重大事故を減らすためには、安全対策の研修をしたり、練習計画を立てたりすることが大切だと思う。

木下教育長 施策を進めるうえで、市長と教育委員会がしっかり意思疎通を図ることが大切だ。組体操は、これまで長きにわたって体育大会等で実施しており、子どもたちは、組体操を通じて挑戦することを学び、達成感や成就感を味わうなど、教育的意義のある取組である。実施にあたっては安全の確保が第一であることから、本市では、「組体操の取組に関する基本的な方針」を策定し、必要に応じて種目を見直し、段数制限を設けるなどの安全対策を講じてきた。私は、危険だからという理由だけで廃止してしまうのはい

かがかと思うが、皆さんのご意見をお聞きしたい。

川崎委員

私は、これまでの取組の結果、事故の件数も減っていて、子どもたちの体力も上がってきていると感じており、感謝している。教育長のご意見に賛同する。

秋田委員

教育長がおっしゃった通りだと思う。

江原委員

私も同じ意見である。

川畑委員

世間がオールオアナッシングという風潮になっているので、教育委員会としては、不必要な事故が起こらないように手立てを尽くして取り組めば、現状で結構だと思う。

木下教育長

市長と話した際にもそのようにおっしゃっていた。今後も、しっかりと安全に配慮して実施していきたいと考えている。

江原委員

この取組が慣れあいになってはならない。そういうときに事故が起こる。教育長や川畑委員がおっしゃるように、毎年見直しを図り、議論したり改善したり、緊張感をもって取り組んでいかなければならない。

木下教育長

その年々で子どもの置かれている状況も違う。事故が起きてしまったときには、原因をしっかりと検証して対策を講じていく。特に体育館での高さを伴う種目にかかる事故が気になっており、対策を検討していかなければならない。

川畑委員

16ページのこども未来部の9月行事実施報告について。10日（火）と17日（火）に実施された児童クラブ指導員全体研修会について、「シェアリングネイチャー」の内容と目的、「*」の意味を教えてください。

こども未来部長

確認して後ほどお答えする。

川畑委員

17ページにも「*」が3カ所ついているが、特に説明がないので、何だろうと思った。「シェアリングネイチャー」は、昆陽池公園で実施されているので、何かを見て回ったと想像するが、児童クラブの指導員に対して研修することの意義を教えてください。

秋田委員

4ページの学校指導課の9月行事実施報告について。2日（月）と9日（月）、30日（月）に実施されている中学生英会話力向上教室について。市内の中学生が26人参加していて、その共有については、前回お伝えした。全国学力調査の結果が上がってきて、現場に気持ちの面でも少し余裕ができてこの時期に、次のステップを見据えて、事業の方法を見直すべきだと思う。この事業は、市立中学校の選抜された生徒を対象に実施している。今後、いかに広げていくかということを検討していただきたいと

思う。

12ページの総合教育センターの11月行事実施予定について。7日(木)に実施されるキャリア教育研修会は、何時からか教えていただきたい。

総合教育センター主幹

午後3時45分からである。

秋田委員

16ページのこども未来部の9月行事実施報告について。19日(木)に実施された保護者教室(OBの方による話)は、対象者を特定しているのか。

こども未来部長

「きぼう保護者」というのは、希望者ではなくて、「きぼう園の保護者」ということである。

秋田委員

ということは、「OB」というのは、「きぼう園のOB」ということか。

こども未来部長

そのとおりである。

秋田委員

承知した。充実した内容になることを祈っている。

17ページのこども未来部の11月行事実施予定について。17日(日)に開催する幼児教育研修会は、対象者が就学前施設職員等となっており、こども園や保育所(園)の開園時間等勤務の実態から想像すると、日曜日に実施せざるを得ないということは理解する。しかし、日曜日しか実施できないということは、言い換えると日曜日開催の研修の代休も取りにくいということである。研修は大切だが、やはり就学前施設の教職員の研修参加は代替の教職員を確保するのが課題ということだ。今、本市は幼児教育ビジョンに沿って新しい形を作っているところである。将来的には、幼児教育に携わる教職員みんなが研修を受け易い状態になり、研修で学んだことを各施設に持ち帰って共有できるという仕組みを作っていく必要がある。そういう意味で、日曜日に実施という今回のパターンが定着しないように、制度を作っていく必要があると考える。これは意見である。

22ページの公民館の9月行事実施報告について。28日(土)に実施された市民講座「社会に出て気づく大人の発達障害」だが、参加者41人をどう捉えているかということと、参加者の構成、その様子を教えていただきたい。

公民館長

当初は3回予定していたが、1回目は、講師が来られなかったり、台風が重なったりで中止せざるを得なくなり、実際に開催したのは2回である。このテーマは初めてで、土曜日の夜ということもあって応募は少ないかなと思っていたが、50人を超える申し込みがあった。参加者の構成は、親子、親だけ、本人だけと様々であり、何か改善への手がかりが欲しいと、とても熱心な様子であった。中止になった日も、本当に残念そうにされて

いて、「企画してくれてありがとう」というふうにおっしゃる方もいた。

秋田委員

とてもいい企画でニーズがあると思うし、有難い。今後、参加者同士が話し合う機会というふうに発展していくと、参加者の背後にもおられる不登校やひきこもりの人、社会生活がうまくいかなくて原因が分からずに悩んでいる人達につながっていくように思う。今後も、複数回のシリーズを何回か実施することを希望する。講座を受けて、専門的な機関にかかったり、本人が参加したりというふうに次のステップにつながることを期待できる。この企画は原因不明の困難を抱えている人をつないでいく窓口として非常に有効だ。継続してほしい。そのために例えば、次につながるような講座等の企画をして、その案内を、会の最後にお渡しいただけると繋がっていきやすいので嬉しい。ひきこもりの状態にあって、家族も周りの人に知られたくないと考えている家庭の場合、市政情報が届きにくい部分があると思う。一步踏み出された機会を捉えて、確実に次へつながるような広報をお願いしたい。

7日（土）と21日（土）に開催された家庭教育支援事業「思春期の子どもとの向き合い方Ⅱ」について、対象は就学前の親子とあるが、どのような内容だったのか教えていただきたい。

公民館長

以前実施した「思春期の子どもとの向き合い方Ⅰ」では、子どもとの向き合い方をテーマにしたので、今回は、親が自分自身と向き合うということをテーマにした。育児の魔法ファシリテーターの方にお越しいただき、ワークショップ形式で実施した。

秋田委員

資料の対象欄に「就学前の親子」と記載されているが、募集の際はそのようにされていたということか。

公民館長

資料の記載が誤っている。

秋田委員

38ページの市立伊丹高校の11月行事実施予定について。修学旅行で発展の著しいベトナムへということは素晴らしいと思う。275人の参加で、5人が不参加と思われるが、何か事情があったのか教えていただきたい。もし、退学者が5人ということであれば、退学の理由を把握して今後のことを考える必要がある。もし、経済的な理由によるものであれば、普段の学習に弊害が出ているかもしれないから、何らかの支援が必要だと考える。そういう生徒に対しては、今後進路指導の際に、制度的な情報が必要になるし、それを早めにしておくことで生徒が落ち着き、学校の落ち着きにつながる。もし、在籍しているけど参加しない生徒がいるのであれば、理由によっても他の生徒にも影響が出てくると思う。丁寧な対応がなされ

ているのであればかまわないが、不参加者が5人というのは多いので気がかりである。

学校教育部長
川崎委員

確認してお答えする。

2ページの教育施設関係工事の着工・竣工報告に関連してお聞きしたい。先日、北中学校の学習発表会を参観したときに、生徒が舞台の下からパイプ椅子を持ち上げて出している様子を見て、危険だと思った。何か対策が必要だと思うが、学校園施設の改修については、どのような基準で実施されているのか。

教育総務部長

北中学校の体育館でパイプ椅子の出し入れが困難だということは、私も着任時に報告を受けており、学校にご苦勞をおかけしていることは承知している。体育館の構造上、今以上の工夫は難しく、今後、建て替えや大規模改修をするときに手立てを講じるしかないという状況である。

木下教育長
教育総務部長
川崎委員

他にもそのような構造の学校があるのではないか。

北中学校は特に困難であると聞いている。

階段を下りて、下の収納から持ち上げて出している。

教育総務部長

よくあるような舞台の下が引き出せるような形ではない。

川崎委員

子どもたちが全部準備しているのか。

木下教育長

子どもたちも手伝っていると思う。

川崎委員

段差が大きくて危険だし、階段を上り下りして椅子を運ぶのは大変だと思う。何か手立てはないのか。

教育総務部長

大変だとお聞きしており、施設課と改善策を考えているが、今の建物の構造では難しい。学校にご苦勞をお願いしていることは承知している。

川崎委員

北中学校だけなのか。

教育総務部長

北中学校は特に大変だと聞いている。

秋田委員

イメージが湧かないので教えていただきたいのだが、スロープになっているということか。

川崎委員

階段になっている。

教育政策課長

体育館の舞台の下が1.5メートルぐらいの高さの空洞になっており、そこにパイプ椅子を収納している。川崎委員がおっしゃるように、出入口が狭く、階段を上り下りするときに頭をぶつけないよう注意が必要である。学校園の改修については、施設課において優先順位をつけて順番に実施しているところである。

木下教育長

安全確保はしっかりしていただくようお願いする。

秋田委員

階段で舞台下に下りて、どのようにパイプ椅子を出すのか。

- 川崎委員
学校教育部長 1つ1つ持ち上げて出しているように思う。
階段を下りた舞台下が広いスペースになっていて、そこにパイプ椅子の収納棚を置いてある。そこに立てているパイプ椅子を1つずつ持ち上げて上に出している。
- 秋田委員 参考になればと思いお伝えする。そういう造りの学校があったが、階段ではなくスロープになっていて、レールが敷いてある。パイプ椅子の収納棚をレールに沿ってそのまま引き出すことができるようになっている。中で作業をするときに事故があってはいけないので、生徒ではなく教員が入るようにしていた。セメントで地面を補強してレールを付けることができるスペースがあれば、そのようにできるかもしれないのでご参考になればと思う。
- 木下教育長 舞台下をパイプ椅子の収納に使うのは効率的だと思う。私は中学校4校を経験したが、4校とも舞台の下の収納棚をフロアにそのまま引き出せる形になっていた。北中学校の現状については、担当課に確認させていただく。
- 川崎委員 子どもたちが中に入って作業するのは危険だと感じたので、確認していただくようお願いする。
- 木下教育長 先ほど川畑委員からご質問いただいた児童クラブの研修会について、回答できるようであればお願いしたい。
- 子育て支援課主査 「シェアリングネイチャー」とは、以前「ネイチャーゲーム」と呼んでいたものであり、一言で言うと自然を体感するゲームである。具体的には、大きな木に聴診器を当てて木の呼吸を感じるようなものがある。また、適当に撮った風景の写真を見て、どこの風景か探し出すというようなものもある。今回の研修では、児童クラブの指導員が説明を聞いて、実技を学んだ。毎年2人の指導員が新しいゲームを考えて、他の指導員に教えるということをしている。児童クラブでは、学校の代休日等で1日保育をするときなどに公園や校庭へ出て、シェアリングネイチャーのように自然に親しむ遊びをしている。
- 川畑委員 児童クラブもそういう教育的機能を果たしているのだと理解した。「*」に何か意味はあるのか。
- 子育て支援課主査 特に意味はない。
- 木下教育長 教育委員の皆さんからいただいたご指摘や要望等については、各担当で検討して取り組んでいただくようお願いする。

(5) 報告第9号の承認（日程第3）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「報告第9号 教育長の委任事項並びに専決事項に関する規則第2条第2項の規定による専決処分報告について」の「専決第23号 伊丹市子ども・子育て審議会委員の委嘱について」を承認。

(6) 議案第57号の審議（日程第4）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第57号 学校運営協議会委員の委嘱または任命について」を可決。

(7) 議案第58号の審議（日程第5）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第58号 伊丹市スポーツ推進審議会委員の委嘱について」を可決。

(8) 閉会宣言

木下教育長（午後3時00分）

上記のとおり会議の要旨を記録し、ここに署名押印する。

伊丹市教育長 木下 誠

伊丹市教育委員会委員 江原 礼子